

同じ月二十五日に、左大臣橘卿、

山田御母の宅に宴する歌一首

四三〇四番

山吹やまぶきの花はなの盛さかりに かくのごと 君きみを見みまくは
千年ちとせにもがも

霍公鳥ほととぎすを詠よむ歌うた一首

四三〇五番

木この暗くれの 繁しげき峰をの上へを ほととぎす 鳴なきて越こ
ゆなり 今いまし来くらしも